



# 「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第16号

令和4年4月21日

## 小中一貫教育について考える

昨日は、本校と糀谷中学校、北糀谷小学校がコロナ禍の中においても集い、感染対策をして小中一貫教育の日を実施できたことは、糀谷地区の小中学校教師の我々にとって良いことと思えました。こうした時期だからではなく、貴重なこの時間を有意義なものとなるように、これからの子どもの支えに生かせるよう、今後も情報交換やご自身の交流を深めてほしいと願っています。

そのためには、なぜこの小中一貫教育の会というものがあるのか、そもそもの目的をとらえておく必要があると考えます。

大田区では、小中一貫教育プログラムで9年間の中で確かな学力、豊かな心、健やかな生活を送るための健康・体力を身に付けるため、連続性に配慮した教育を行うと示されています。このことは、とても重要な視点であると考えます。具体的には、どういうものか、自分なりに考えました。

○中学校への進学不安解消

○いわゆる「中1ギャップ」の緩和

○小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まる

○小・中学校の教員間で互いの良さを取り入れる意識が高まる

○小・中学校共通で実践する取組が増える

もっと具体的に言うと

○学力調査の結果の向上

○児童・生徒の学習意欲の向上

○中学校の専門性を生かした発展的指導や小学校のきめ細かな指導技術を生かした補充指導の充実

○いじめや不登校、暴力行為の減少

○規範意識の向上

こういったことから、重要な会合であったと思います。ぜひとも、この会を有意義なものとし、糀谷地区の一貫教育にご尽力をいただきますよう、お願いします。



## 少しずつ居場所づくり

不登校児童の支援の一つに居場所づくりを本校は重点事項に掲げています。現在、改装中ですが、2階多目的室に居場所を作っています。寝転んだりもできる部屋です。既に何人か使用していますが、昨日は4年生が先生と一緒に本棚の整理をしてくれました。ありがとう！すごいねって声を掛けたら、本人はとても喜んでいました。「役に立った」ということを喜んでいたということです。

